荒井里桜（ヴァイオリン）　Rio Arai, violin

1999年東京都出身。

東京藝術大学音楽学部を特待奨学生として在籍、また首席卒業するとともに、アカンサス音楽賞及び三菱地所賞受賞。また、在学中に福島賞、安宅賞、宮田亮平奨学金を受賞。平成29年度東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。ローザンヌ高等音楽院卒業。

第15回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞。第87回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位、併せてレウカディア賞・鷲見賞・黒柳賞を受賞。第20回ハチャトゥリアン国際コンクール第3位及びシューベルト・インタープリテーション特別賞を受賞。

第386回ホテルオークラロビーコンサートに出演。また、The Okura Tokyoの新館オープン記念として第1回スペシャルコンサートに出演。

フェンディが世界展開する「フェンディ ルネサンス – アニマ・ムンディ」プロジェクトのソリストに抜擢。

NHK交響楽団、読売日本交響楽団、ローザンヌシンフォニエッタ、アルメニア国立交響楽団、マカオ管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、群馬交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。

留学先のスイスでは、コンサート以外に慈善活動などにも精力的に取り組む。

題名のない音楽会、NHKをはじめ、ラジオやメディアへも多数出演。

第17回ベストデビュタント賞受賞。

2020年からは、TWEED DRESSと共に演奏家のためのドレスをプロデュースし、好評を博している。

2018年から2年間、一般財団法人ITOHより1779年製“J.B.Guadagnini”を貸与される。

2020-2022年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。

2020-2022年度宗次徳二海外留学支援奨学生。

2023、2024年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

高崎芸術劇場T Shotシリーズより、デビュー盤「RIO ARAI in Concert」をリリース。

現在の使用楽器は、(株)日本ヴァイオリンより貸与の1837年製"J.F.Pressenda"。

これまでにジェラール・プーレ、永峰高志、澤和樹、山崎貴子、堀正文、玉井菜採、ジャニーヌ・ヤンセンの各氏に師事。